行政報告

農作物の生育状況等について

６月１日現在の生育状況は、秋まき小麦やてん菜、牧草は「やや不良」、大豆は「並」であり、今後も関係機関と連携し、適正な管理作業の指導を行っていく。

体育館と農業研修会館をつなぐ渡り廊下のアスベスト対応について

４月に渡り廊下の雨漏り修繕のため、天井材をはがしたところ、建材の一部に吹付け材を発見し、成分分析した結果、アスベストが含有されていたため、除去工事を実施する。

「全十勝清水やきもの市」中止について

口蹄疫発生後、管内自治体で侵入防止対策を講じており、イベント等も中止されている状況から、観光協会と協議した結果、本年度は中止すると決定した。

平成22年度 補正予算

一般会計

（２、３回目の補正）

6,728 万円 増

総額 66 億 7,007 万円

一般会計の主な補正（歳出）

◇清水赤十字病院運営資金貸付金	5,000万円の増額
◇緊急雇用創出推進事業委託料	985万円の増額
◇観光案内板設置工事	339万円の増額
◇介護療養型医療施設転換整備事業補助金	360万円の増額
◇交通安全指導車更新事業	87万円の増額
◇公園施設管理用芝刈機更新事業	50万円の増額
◇口蹄疫対策事業	87万円の増額
◇道路等補修事業	230万円の増額
◇体育館渡り廊下アスベスト除去工事	318万円の増額
◇防火用水・ホクレン工業用水管修繕工事	118万円の増額

※そのほか、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療保険特別会計、介護保険特別会計、公共下水道事業特別会計、集落排水事業特別会計、簡易水道事業特別会計、上水道事業会計の補正予算案を原案のとおり可決。

町政を問う！ 一般質問

６月定例会では５人の議員が一般質問にたち、11項目にわたって理事者の方針をただしました。なお、１議員２項目までの掲載。質問と答弁は要約してあります。

町民が安全で安心して暮らせる体制づくり

西山輝和 議員

万が一の病気や事故、災害時に対して、現在、本町の救急出動体制は整備されているが、さらに町民が安全・安心に暮らすために、救急車を増車するなどの必要性について伺う。

高薄町長

本町の救急体制は、現在、高規格の救急車１台となっており、昨年は341件を救急車１台で出動をしている状況である。

出動中に別の救急要請が入った場合も十数件あったが、ストレッチャー等を装備した消防広報車を活用しての搬送や、軽度以上の場合は近隣町へ出動要請を行っている。

高齢化や高速道路等での交通事故に対応する体制も含めて、近隣町と協議を重ねている状況だが、このほど、全国共済農業協同組合連合会北海道本部から、救急対応の車両１台が寄贈されることになり、出動の予備的対応を図る考えでいる。

公共施設トイレの洋式化（学校含む）

原　紀夫 議員

本町の高齢化率は30％を超えている。以前から、公共施設トイレの利用について、高齢者等から不便であり、施設の使用や行事参加を控えているとの指摘があった。財政的なことから、洋式化が進まない面もあると思うが、順次改善に向けて取り組むべきではないか。

また、学校施設でも児童生徒の意識調査や学校の意向を確認し、明るくきれいで利用しやすいト